

# 碧南市西端地区まちづくり交付金事業評価委員会 議事録

会議名称	碧南市西端地区まちづくり交付金事業評価委員会
地区名	西端地区
日時	平成21年12月1日(火) 9:00~11:25
場所	碧南市役所7階 第1委員会室
事務局	禰宜田市長 市民協働部 片山部長 地域協働課 山田課長、亀島担当係長、野澤主事 (株)建設技術研究所 長南、川上
配付資料	議事次第、委員会設置要領、委員会名簿、説明資料、都市再生整備計画(西端地区)、方法書、事後評価シート
傍聴者	1名

氏名	所属等	備考
水津 功	愛知県立芸術大学美術学部デザイン・工芸科准教授	学識経験者、委員長
伊藤 孝紀	名古屋工業大学大学院社会工学専攻准教授	学識経験者、職務代理者
榊原 周治	碧南市連絡委員代表幹事	
黒田 昌司	碧南商工会議所会頭	
永坂 幸子	碧南市女性団体連絡協議会会長	
杉浦 学	(社)愛知建築士会碧南支部代表	

## 1. 開会

## 2. 市長挨拶

## 3. 委員紹介

## 4. 委員長選出

- 榊原委員から事務局による推薦を提案された。
- 事務局側から水津委員を推薦。
- 委員一同に了承された。

## 5. 報告

- ・まちづくり交付金とは(制度の概要)
- ・事後評価のしくみ・進め方
- ・西端地区都市再生整備計画

- 質疑特になし。

## 6. 西端地区事後評価について

### (1) 事後評価手続きについて

- 委員発言 ● 委員長発言 ➤ 事務局発言

#### ①確認事項について

- ・方法書と実際の事後評価手続きとの比較
- ・目標等変更の確認
- ・事業の進捗状況の確認
- ・実施過程の確認
- 4つの確認事項に関して確認したということによいか。

- 異議なし。

## ②指標の目標達成度の評価結果とその理由の妥当性について

- 市の評価は妥当であるとしてよいか。
- 異議なし。

## ③「その他の数値指標」を取り上げた理由について

- 市の評価は妥当であるとしてよいか。
- 異議なし。

## ④目標を達成した各指標の効果発現要因について

- 指標1の耐震化率について、基幹事業と提案事業に◎がなく関連事業に◎があるが、国からの交付金として効果があったといえるのか？
  - 今回、直接的な指標改善は関連事業によるものである。しかし、国からの交付金により実施したさまざまな事業により、まちの安全性や快適性が増し、地区全体の魅力が増した。その結果、転出抑制、転入増加等が2次的に発現し、旧来の木造住宅、住んでいた住宅の建替えにつながると考えられる。よって、基幹事業、提案事業ともに指標へ間接的に貢献していると考えられる。
- 指標3については、基幹事業でなくてウォーキング等各種イベントの開催によるソフト事業の効果が大きいのではないかと？
  - 事後評価シートに記載している2つのイベントは、哲学の小径等の整備効果により、イベントが開催される起爆となったものとし、指標改善に影響したものと判断している。
- 目標と数値指標の関連性があいまいで、関連事業による影響が大きくなっている指標があるので、次回からは、もっと目標と数値指標を関連づける必要があるのではないかと？（黒田委員）
- もっと明確に事業による効果が見える指標を設定した方がよかつたのではないかと？
  - 事業全体の習熟が不足しており設定が下手だったと認識しているが、まちづくり交付金事業の特徴でもある総合的、相対的にまちづくりの事業効果を評価するように進めてきた。
- 耐震化率の指標では、56年以前の木造住宅の数値を用いているが、その数値には三度山住宅が含まれない。今回、三度山住宅の建替えを行ったにも関わらず指標に直接影響してこない。木造住宅に限定しなければ、大幅に耐震化率が改善したのではないかと？
  - エリア全体の安心・安全を目指しており、木造住宅の耐震化をどう進めていくかがエリア全体の防災に影響すると考えて指標とした。
- まちづくりの評価をするのは非常に難しいが、関連事業を含め横断的に効果が発現していることを把握できているので、その点は評価できる。また、数値に潜むソフト面や関連事業がうまくリンクしてこの地区がよくなっているとすれば、指標として妥当であり、交付金により活性化したと判断できるのではないかと？
- 今後の活用について、まちづくりの目標で記載されている「田園風景の豊かなまちづくり」についても追加したほうがよいのではないかと？。例えば、狭隘道路は、安全・安心面ではマイナスポイントになるが、景観が気に入っている人もいる。その対立軸を考えていかないと本当の解決は見えてこないと感じる。
- 狭隘道路は、景色としてはとてもよいが、子どもの安全面や快適、便利に暮らすという視点では改善することも同時に考えてほしい。
- 三度山住宅などハード面では立派になったが、古くから住んでいる住民と新しい住民の間で格差ができてしまった感じがするので、住んでいる方の精神的な垣根がなく、まち全体が一体となったまちづくりを進めてほしい。

- まちづくりは、何かに特化するとわかりやすく説得力があるが、最終的にはすべてが満たされていかないと豊かにならないと考えられる。
- 整備するところ、残すところなど総合的な考えによりまちづくりを進めていくことが必要と感じた。また、このような事業をきっかけに、今後、住民の中にもそのような意見が出てくるのが理想である。
- 幹線道路が整備されないと生活道路に車が進入してくるので、拡張することで安全面は損なわれる事もある。また、大浜地区のように歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを進める場合は、道路を拡張すべきか狭隘のままでいいのか、今後検討する必要がある。
- 地域の合意があれば、様々なまちづくりの基準があってもいいし、市民の意見をもっと取り入れてその地域の合意のもとにルールを決めていくということがあるとするれば、地域が主体的に共有して意識を持つということを前提に、整備方針が立てられるということも今後あると思う。
- 今後の活用について、訂正すること以外は、市の評価は妥当であるとしてよいか。
- 異議なし。

#### ⑤目標を達成できなかった各指標の効果発現要因について

- 市の評価は妥当であるとしてよいか。
- 異議なし。

#### ⑥事後評価原案に寄せられた住民からの意見に対する市の対応方針の妥当性について

- まちづくり交付金とは関係しない個人的な意見に関しては、事後評価シートに記載する必要はないのではないか。
  - 事業について補足すると、県道西尾知多線の拡幅改修については、都市計画課で検討し、地元の地権者を含めた説明会を実施したが、合意はできていないのが現状である。また、長田橋柿池線の地権者の合意がとれないまま工事を強行したという部分は、合意が得られて用地買収が済んでから工事に入っている。
- 委員会の場で記載が不要と考えれば、表記を削除することとするが、いかがか。
- いただいた意見であれば、あえて消す必要もないのではないか。
  - 意見の記載については、国に確認をして、委員長と対応を考えたい。
- まちづくり委員会を公開してほしいという意見について、委員会というのは公開すべきだと考えるが、まちづくり委員会は公開しているのか？
  - 現在は公開していないが、まちづくり委員会を公開するかについて、委員会で今後検討していきたい。
- まちづくり委員会は、市が管轄したり、関与しているのであれば、公開すべきだと思うので、対応してほしい。
- 行政として、まちづくり委員会を公開していくように働きかけをしてほしい。
  - 添付様式6の次期計画や他地区への活かし方にその旨を記載するよう検討する。
- 市の評価は妥当であるとしてよいか。
- 異議なし。

#### ⑦事後評価手続きの妥当性について

- 市の評価は妥当であるとしてよいか。
- 異議なし。

## (2) 今後のまちづくりについて

### ①今後のまちづくりについて

- 地域コミュニティ環境が向上したけれどコミュニティを活発にする方策がもっと必要だとあるが、具体的に何が必要だと考えているのか？
  - 三度山住宅に従来から入居されている人へのアンケートで、「防災意識が高まった」、「建替えに満足している」という意見が多い反面、家に出る機会が減った人が増えている点や住宅内の人との会話が減った人が増えている点を重視し、課題として記載した。今後の方策は庁内で検討していくが、例えば、三度山住宅に併設して整備した三度山公園の維持管理活動を行う組織をつくったり、子育て拠点施設の中でのソフト面での支援を想定している。
- 子育て環境の整備に対して環境が向上したのみで、それに対して課題がないというのはまちづくりとしてはいかなものか。ある面では向上したが、こういう面では課題がまだ残っていると言うのであれば、妥当だと思う。
  - 添付様式5-③の効果を持続するための基本的な考え方の項目で、ソフト支援など今後の具体的な考え方を検討して記述している。
- 市の評価を妥当であるとしてよいか。
- 異議なし。

### ②本地区のまちづくり経験について

- 住民からの意見に対する市の対応方針の所で委員の意見でまちづくり委員会の公開が重要であるとのことだが、添付様式6の次期計画や他地区への活かし方で、情報公開を今まで以上に行うと記述があるので、ここで、先ほどの意見が反映されているとみなしたい。
- 事務局案を妥当としてよいか。
- 異議なし。

### ③フォローアップ計画について

- フォローアップの測定方法だが、これも当初申請時に書かれた内容のとおりか。
  - 事後評価を実施する方法書を作成した内容で、指標を新たに追加するものではなく、見込値を確定値にする計画である。
- 市の評価は妥当であるとしてよいか。
- 異議なし。

### ④今後のまちづくり方策の妥当性について

- 三度山住宅アンケートの結果で、防災意識が高まったことや、公園など清掃に積極的にかかわりたいという意見が出ている。これは地域の声だと思うのでよかったのではないかな。
- ハード整備は順調に進んだので、ソフト面として、そこに住む人たちの心を磨いて、もっと活動しようとか地域を大事にしようという気持ちとなるような対策を行ってほしい。
- フォーマットにとらわれた成果を確認するだけでなく、目に見えない豊かさなどを追うような活動と調査を行ってほしい。また、鳥の目で俯瞰することと猫のようにまちを体感する両方の視点をもって、まちづくりを進めてほしい。
- まちづくりは、人と人とのつながりを強化していくことが大切なので、集合住宅とそれ以外の住民とのつながりをどうするかが課題である。
- 地元の住民がまちづくりをもっと考えていく必要がある。
- 市の評価は妥当であるとしてよいか。また、委員会の議論を受けて修正した事後評価シートの内容は、委員長一任としてよいか。
- 異議なし。

## 7. 評価委員会後のスケジュールについて

- 今回の評価委員会で頂いた意見をもとに事後評価シートの修正及び作成を行い、委員長と調整した後、国に提出する旨を事務局から説明。
- 評価委員会での議事録や評価結果を、碧南市役所地域協働課のホームページ等で公表する旨を事務局から説明。
- 事後評価シートの修正内容についての確認は、委員長一任とする旨を水津委員長から説明。
- 委員一同に了承された。

## 8. 閉会

### ■評価委員会の状況



市長挨拶



水津委員長挨拶



審議の様子